

令和の飯南町議会

平成から令和へと元号が変わり、新時代の幕開けとなりました。時代は変われど、飯南町民約4,800人の暮らしに関する予算は、議会が認めることで執行されていきます。町づくりは、もとより町長と町民が話し合っ創っていくものですが、町民の代表として議員が選ばれ、議会で審議や協議をして決めていく仕組みになっています。ただ、議会の動きを検証するのは、町民のあなたです。議会を傍聴して、あなたも町政に参加をしてみましょう。



議会を傍聴しましょう

議員のなり手がいない現状

地方では議員のなり手がなく、議会の存続が危ぶまれる地域がはじめています。自分たちの地域のことを、自分たちの意思が反映されないままに決められるようなことがあれば残念な事です。

「議員報酬だけでは生活ができない」「議員の仕事に魅力がない」などの意見を聞きます。

町議会の将来を見据え、議員に一定のルールを設けて臨もうとしたのが、このたび制定した議会基本条例です。議会も新時代を迎えて、新しい取り組みに向けてのスタートラインに立ちました。

議会の役割は明確です

平成29年4月の議会報で、既に皆様には広報していますが、大切なことなので、再度ポイントを抜粋します。

- 1 住民を代表する機関
- 2 地方公共団体の意思を決定する最高機関
- 3 執行機関の監視機関
- 4 提言する機関
- 5 地方自治体の内部機関
- 6 公益に関する機関意志を決定

する機関

としています。議会がこうした機関であることを常に認識したうえで議会活動に臨まなければなりません。

議会と議員の使命を果たす

本議会報の8ページに、私たちが長時間を費やして作成した「議会基本条例」の概要を掲載しています。自らの行動を前述の議会の役割に照らし合わせ、議員としてあるべき活動の指針を明確化したものです。

さて、令和最初の6月定例会の傍聴者はゼロでした。自分が選出した議員や他の議員が、どのような質問を行い、執行部がどう回答をしているのか、気になりませんか。

令和元年

6月定例会終わる

6月4日から14日までの11日間で開催

元号が令和となり、はじめての定例会議が6月4日から6月14日の11日間開催された。

平成24年、安倍内閣が誕生して、国の公共事業予算は、平成24年度が4兆8500億円、平成27年度に6兆円になったものの、それからは横ばい状態が続いている。補正による積み増しが年々減少する中で、地方のインフラ整備に大幅な遅れが生じている。

このような中で、本年度の社会資本整備総合交付金の交付率が96・1%、3億2000万円余の内示があり(例年は60%程度)、町道八神千原線、町道駐車場川原線、町道角井境線の改良工事進捗が図られることになった。

医療及び福祉従事者確保対策事業は、平成23年度から助成が始まり、平成28年度に介護学生、平成30年度には保育学生に拡大された。

この制度の利用者は24名に上り、卒業生7人が町内の事業所で勤務している。研修中や在学中は15人で、貴重な人材確保の制度となっている。

可決された主な議案

■ 条例関係

飯南町議会基本条例の制定など5件

■ 承認

元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定など7件

■ 予算

令和元年度飯南町一般会計補正予算(第1号)など6件

■ 諸議案

来島拠点複合施設建設工事請負契約の締結など4件

■ 報告

議会の委任による専決処分報告など3件

〔令和元年度 一般会計補正予算 2億2214万円増額〕

町道八神千原線等町道整備事業費9570万円の増額、農業基盤整備促進事業 4140万円の増額、法面等災害防除事業 2700万円の増額、プレミアム付商品券事業1030万円(新規)など

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	2億2214万円	89億4682万円
特別会計	国民健康保険事業	△75万円 6億5491万円
	介護保険サービス事業	260万円 3768万円
簡易水道事業会計	△177万円	6億1223万円
下水道事業会計	325万円	5億4208万円
病院事業会計	△1316万円	12億5688万円